BOLETIM INFORMATIVO INTERNO(GRATUITO) A・C・A IWATE KENJINKAI DO BRASIL
www; iwate.org.br e-mail;iwate@iwate.org.br

岩手県人会ニュース

194
2016年11月発行

ふるさとだより ⑧ 記事提供 岩手日報新聞社 *Iwate News*

希望郷いわて国体46年ぶり開催 天皇皇后両陛下ご臨席

KOKUTAI É REALIZADO EM IWATE-KEN APÓS 46 ANOS

協調と団結の祭典

10月1日、秋晴のもと第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」が天皇皇后両陛下をお迎えして、北上市総合陸上競技場で行われた。

海外県人会 アルゼンチン（1名）、パラグアイのピラポ（2名）、イグアス（2名）、ブラジル（6名）、アメリカ（2名）、京都県人会（7名）が参加、岩手県では46年ぶりの開会式だった。

岩手の俳優村上弘明さん「希望郷から ありがとう」と岩手を紹介しながら、様々な開幕前オープニング（生徒達の舞、伝承芸能の虎舞、さんさ踊り、鹿踊り、鬼剣舞）など約200名が舞う踊りは壮観で感動した。

選手団4.600人が入場。炬火がともされ、達増県知事の開会宣言。先のリオ五輪競歩に参加した高橋英輝選手（42位）とホッケーの小沢みささんが選手宣誓。（因みに高橋選手は今回1万m競歩で大会新を更新した。県人会ではリオ五輪競歩のテレビ観戦会で応援したが、国体で成績不振を挽回した）女優の宮本信子さんが大震災当時、小中学生の作文「つなみ」を朗読。歌手の千昌夫さん、新沼謙治さんがヒット曲を披露した。

奇しくも47年前父、千田安治が岩手国体に参加。今回息子の私が参加できた事は感慨深く感激した開会式であった。

2011年3月の大震災から復興中であるが、県民一体となり国体を成功させた県人魂に敬意を表したい。この思いを在住県人や子弟皆さんに広く伝えたいと思っています。

10日間競われた国体の成績は、1位東京、2位岩手県。なお10月22日から第16回全国障害者スポーツ大会が行われた。

意義あった海外県人会交流会

9月30日「海外県人会交流会」参加は県から吉田眞二国際課長、小田島高志特命課長、八巻渉担当主査に職員2名。NYの佐々木まり子さん（幹事）、川崎滋生氏、アルゼンチンの猪俣康夫会長、パラグアイ・ピラポの伊澤政明夫妻、イグアスから伊藤鷹雄夫妻、ブラジルは千田曉会長夫妻、

平野稔書記、田鎖満氏、及川秀義理事夫妻、研修中の八重樫亜希カリンさん、賛助会の吉田恭子会長さん。司会進行は小田島課長さん。千田会長の音頭で乾杯。会食しながら各県人会が会活動を報告した。

NYの佐々木さんは機会がある度、懇親会や訪問者の支援をしていると報告。アルゼンチンの猪俣さんは県人会の存続問題を、パラグアイのピラポ、イグアス県人会は若返りを図っている。

各会は一世移住者減少に伴う世代交代の時期にあり、会継承には人材育成が必要で現地生れの子弟は岩手県を知らない若者が多い。

県人子弟に祖父母のふるさと岩手を知る機会（短期研修制度）を、与えて欲しいとの意見もあり、今後も会の継承をと訴えた。

人的交流　南米関係者集う

10月1日「歓迎会」

環境生活部津軽石昭彦部長の招宴が開かれ、海外県人会15名、ブラジル県人会賛助会員の会17名、県職員担当部局や南米訪問者19名、岩手民謡協会員14名、岩手相撲連盟員や他10名など、総計75名が参加し盛大な歓迎会であった。

昨年パ国ピラポ県人会創立55周年式典に知事代理として、南米県人会を訪問された根子忠実部長（当時）の音頭で乾杯し祝宴が始まった。

津軽石部長が歓迎の辞、各県人会代表が親睦や交流事業を紹介。民謡協会員の特別ショーなどあり、南米訪問者など顔なじみも多く、皆さんとの再会や人的交流が

出来た事は喜ばしい。皆さんとゆっくりお話が出来なく申し訳なく思った。

集いに県庁関係者が多くが南米を訪れている。前回来伯された達増県知事さんが議長さんに、県職員で南米訪問OB会を立ち上げてはと車中で話されたいたのを思いだす。是非OB会を設立され、民間訪問者等と交流されてはと提唱したいと思います。

人気上昇中の歌手、福田こうへいさんの新曲「北の出世船」をブラジルへとCDが届けられた。カラオケ愛好会に新曲を広めてとCDを提供。

「大震災被災地視察」10月2日　盛岡から宮古市へ向う途中、

先の集中豪雨や台風10号による被害があった、岩泉町の河川流域は、被害を思わせる流木が川岸を覆っていた。また国道も一区間は片側通行の規制があり被害の惨状を伺わせた。

宮古市の浄土ヶ浜で全員で記念写真に収まる。

町の自慢で強固と云われたX型堤防で有名な田老町。ガイドの語部さんから、港や町が一望できる一部破壊された堤防にあがり、津波の

勢いや被害など諸説明を受けた。田老観光ホテルも3階まで鉄骨がむきだしになっており、災害保存に指定されていた。ホテルの社長が5階から写した映像は津波の凄まじさを物語っていた。一方海岸線には14mの巨大防波堤が築かれつつあった。

三陸鉄道田野畑駅で乗車前に、研修中の八重樫亜希さんが車掌さんの帽子を借り、即車掌に早代わり?。

震災学習列車はガイド付きで徐行や停車しながら、車中パネルつきで被災地や復興状況など詳細な説明があった。海岸が見える鉄橋上に停車し、震災犠牲者に黙祷を捧げ冥福を祈った。

大震災や台風10号で被害をうけた閉伊川沿いにある鮭孵化場も鉄橋から視察。

朝ドラ（あまちゃん）で撮影された駅「袖が浜駅（実際は堀内駅）」で停車しドラマを再想した。

70分間の電車旅で久慈駅着。県庁の公式日程が終了。皆さん全員で写真に納まりお別れした。お疲れさまでした。

金ケ崎町の交流会

10月3日金ケ崎駅に着くと、中央生涯教育センター主査及川靖さんが待っていた。及川さんとは今回の町訪問について連絡を取りあっていた。早速国体競技であるソフトボール会場に案内され、観戦中の高橋由一町長にご挨拶。（写真右は高橋町長、左は小野寺副町長）

「料理の紹介」お昼にお弁当と郷土食**「ずるびき**（汁もの）**」**を頂いた。「ずるびき」は昔、冠婚葬祭を自宅で行った際に、余った食材を利用して作られたのが始まりとの事。会場で調理していたご夫人に材料を聞くと、コンニャク、ごぼう、人参、椎茸、さつま芋、豆腐、アブラゲ、竹の子に三つ葉など青物を添えるとの事でした。余った食材ですから、全部揃わなくても食材の味と出汁をしっかり取れば、美味しい「ずるびき」が出来るのではと思います。まずはご家庭で作ってみられてはと思います。

「鬼剣舞庭元と再会」

syぶがい生涯教育センターに、リオの東京ジャパンハウスでお会いした、鬼剣舞の庭元・菅原晃さんが、北上市から当会の平野さんと来られ、リオでの思い出を語りあった。

「親戚訪問」初回（1990年）から金ケ崎町訪問の折には、千田家現存の親戚である千田茂氏宅（醤油店）を訪問している。生憎同窓生会とかち合って不在でしたが、奥さんが応対され一時を語りあった・

「歓迎会」会場は、伝統的建造物である「侍屋敷大松沢家」で、千田夫婦、及川夫妻の歓迎交流会が開かれた。

故・及川安平さんの子息、及川秀義さん（1977年県費留学生、約30年ぶりの金ケ崎町訪問）夫妻の親戚（従兄弟の及川光夫さん、千田良子叔母さんの息子である久耕さん）も加わり、高橋町長招宴に、小野寺副町長や県人会55周年に参加された千葉政幸前副町長、伊藤雅章議会議長に町関係者、県人会45周年慶祝団員（鹿踊りの及川憲義さんほか）や訪問者などが参加された。

初めに高橋町長が歓迎の挨拶。私共の自己紹介では県人会活動の現状や、故郷との交流など思いを伝えた。

また参加された方々の自己紹介や南米訪問など、繋がりや思いでなど話された。こうして意義ある交流会が行われた。

10月4日、及川主査の案内で金ケ崎の政治家**「千田 正 記念館」**を視察。氏は参議院議員を3期、岩手県知事4期を務めた。知事在任中（1970年）岩手国体開催され、私の父が招かれ国体観戦や、県内の留守家族会を訪ね、移住者の安否や現状を伝えたり、留守家族の近況を移住者に伝えたと資料にある。

千田知事は明治32年（1899）金ケ崎町三ヶ尻に生まれ、米国オハイオ州、ニュヨーク州、英国のロンドン大学に留学している。千田知事は1964年に初めて、ブラジルやパラグアイ両国各地を視察、各県人会の激励や交流会に参加。その後もう一回千田知事は南米を訪問をしている。

視察**「金ケ崎要害歴史館」**「要害」とは「城」に準ずる軍事的支配拠点で、一国一城令により「金ケ崎城（仙台藩」は後に「金ケ崎館」となる。付近一帯は武家屋敷が多くあるとの事。昔、金ケ崎と北上市の近辺が、南部藩と仙台藩の境だったという。

金ケ崎町工業団地周辺を一巡し、岩手県の訪問を終え新幹線の人となった。

（注）記憶を辿って書きましたので一部違いや、順が間違っているかも知れません。悪しからず。（千田）

9月 4 日 沖縄県人会創立 90 周年式典に会長夫妻出席
★ モジ市在住の佐藤武さんは、8月 29 日逝去と娘さんから知らせ
10 定例役員会 議題は各種報告、岩手国体、20回日本まつり
15 会費納入お願い、岩手県水害見舞い協力の要請を発送
★ 事務局留守中、野村なおみさん（会計）が事務局代理を努める
10 月 8 日 会長夫妻県訪問から帰国
15 臨時役員会 各種報告など
19 役員会案内、会費領収書、岩手災害義捐金領収書など発送
22 ベレン県人会の山中正二会長来館され親しく懇談
23 島根県人会60周年式典に会長出席
27 県連代表者会に会長出席
11月5日 役員会開催、議題は国体報告、餅つき一忘年会、定期総会、役員改選、新年会など
7 IBC 岩手放送の中村好子さんから「希望郷いわて国体」生中継番組のヴィデオ送付あり
14 餅搗き、忘年会のお知らせを会員へ発送

県人会館は交流の場

月曜 毎週 岩手カラオケ愛好会
火曜、水曜 鍼療法 モニカさん M階
木曜 カラオケダンス 野沢さん、夜 ボクシング。
金曜 カラオケダンス 中島さん、 夜 空手道
土曜 日本語教室 カミラさん 2部制、
新体道、岩手太鼓「雷神」練習、催に貸出し
日曜 毎週ではありませんが、賃貸や県人会催し事で活用しております。
岩手県人会は地の利が良く、事務所やふるさと図書室など利用者等の休息や訪問者同士の交流の場として重宝がられております。

「**県人会ニュース**」（カラー）や「**お知らせ**」「**県人会ホームページ**」（カラー）を，「e-mail」でご覧になりませんか。希望者にはメールで送信しますので、アドレスをお知らせ下さい。
または、岩手県人会サイト（www.iwate.org.br）でもご覧になれます。

事務所来館者数（1階利用者は含まれません）
9月 324名、 **10月** 396名、

図書利用数
9月 484冊 121名、**10月** 387名

寄贈・寄付 お茶菓子多数、図書多数

ブラジル県人会「賛助会員の会」2016年度会費納入者名（敬称略）

吉田恭子（盛岡）、清水泰宏・キミ子（盛岡）、藤沢清美（盛岡）、真崎良平（滝沢）、松本トミ（山田）、菅原圓雄（盛岡）、東根千万億（盛岡）、一戸和（盛岡）、熊谷澄子（盛岡）、斉藤好弘（盛岡）、坂本洋（盛岡）、佐々木義久（盛岡）、鈴木直志（盛岡）、高橋良平（盛岡）、中村一郎（盛岡）、藤村とも子（盛岡）、武藤千賀子（盛岡）、吉田英子（盛岡）、渡辺史朗（盛岡）、高橋邦彦（花巻）、高橋典克（花巻）、小田島栄（北上）、伊藤栄喜（北上）、佐々木栄洋（遠野）、和賀武耕（奥州市）、久慈浩介（二戸）、山澤順三（矢巾）、佐藤節夫（金ケ崎）、小関浩喜（金ケ崎）、田口忠（金ケ崎）、千田良子（金ケ崎）、桑島冶仁（金ケ崎）、沼崎喜一（山田）、菊地光明（山田）、清水誠勝（山田）、大和田加代子（陸前高田）、三上牧蔵（盛岡）、工藤容子（盛岡）、山本サツ子（盛岡）、藤村秋夫（静岡県）、岩船信一（神奈川県）、増田稲子（神奈川県）、杉村延広（大阪府）、玉沢徳一郎（盛岡市）、国吉瑞穂ニルソン（東京都）、滝川良一（八幡平）、県人会へのご協力ありがとうございます。

逝去の報 Notas de falecimento

佐藤 武男さん（Takeo Sato）行年 82 才、イタペチ在、1956 年 5 月着泊、一関千厩町出身）は、8 月 29 日逝去されたと娘の中村洋子エレナさん（1988 年県費留学生）から、連絡あり。

会費納入者名（敬称略） Anuidade de 2016

9月 前川鮎乃助(Ayunosuke Maekawa), 阿部安忠(Yasutada Abe), 高橋栄子(Eiko Takahashi), 崎田ひろかずエドワールド(Eduardo Hirokazu Sakita), 小笠原カミラ(Camila Rabelo Ogasawara), 安武俊樹(Toshiki Yasutake), 丹野清人（賛 kiyoto Tanno）, 鈴田豊昭(Toyoaki Suzuta),
１０月 田口晃記(Kouki Taguti), 高橋カーロス(Carlos Koji Takahashi), 藤沢晴巳(Haremi Fujisawa), 岩渕克之(Katsuyuki Iwabuchi), 田頭明子(Akiko Dendo), 田口裕久(Hirohisa Taguchi), 高橋清(Kiyoshi Takahashi),
11 月 菅原正芳(Masayoshi Sugawara), 谷田部昭代(Akiyo Yatabe)

台風10号大雨等水害義捐金協力者名（敬称略）

台風通過に伴う大雨や 9 月 10 日の台風 10 号が、岩泉地方全域、宮古市、久慈市地方を直撃し多大な水害があり、急遽義捐金を会員や有志の方々に協力をお願いしました。 短期間ですが皆様から協力を頂き、国体参加を機に一応、岩手日報社を通して 25 万円の協力をさせて頂きました事をご報告させて頂きます。

岩手県赤十字社達増拓也支部長の受領書を添えます。
ありがとうございました。
尚、義捐金受付は11月30日までとさせていただきます。

内田健 R$ 100, 藤村光夫 3 万円、石井克己 R$1,000, 大志田良子R＄50、 中村敏雄 R$ 100, 武田春夫 R$100, 田鎖満 5 万円、 千田曠暁 1 万円、 菊地透 R$100, 梶原まさこ R$50, 山道慶大 R$100, 工藤五三郎 R$2,000, 工藤ときこ R$1,000, 佐々木寛一 R$100, 工藤あきら R$2,000, 高橋信夫 R$100, 及川秀義 R$100, 平野稔 2 万円、菊池達郎 R$700, 平尾宏子 R$100, 菊地義治 R$300, 黒沢フジ R$300, 黒沢百合子 R$500, 伊藤えみこ R$ 100, 楠本しげこ R$ 100,（10 月 31 日まで）

ふるさとだより ⑧ 記事提供 岩手日報社 Web News

「再び」奪われた日常　台風 10 号、各地に爪痕

本県を直撃した台風10号は、各地に大きな爪痕を残した。川の氾濫で、濁流に一気にのみ込まれた地域。一夜が明けて、変わり果てた古里の姿に住民たちは言葉を失った。一方、各地で関係者による懸命の救出活動が続けられた。

冠水した久慈市街地では、消防隊員がボートを使って取り残された人たちの救助活動にあたった。【写真㊤＝冠水した久慈市街地で、取り残された人をボートで救助する消防隊員＝31日午前5時50分ごろ、同市中央】

【写真㊦＝閉伊川などからあふれた水が流れ込み、資材や印刷機器が被害を受けた印刷工場＝31日午前11時、宮古市松山、写真㊦＝普代川の氾濫で泥だらけとなった自宅を片付ける住民ら＝31日午前10時40分ごろ、普代村羅賀】(2016/09/01)

宮古市の一部で「孤立」続く　国道 106 号が分断

閉伊（へい）川の氾濫は、基幹道路の国道106号を各所で分断する被害を与えた。川と並行する宮古市中心部から新里地区の約20キロは31日現在、車道の崩落や土砂崩れ、押し寄せた流木で不通が続く。

市街地西部の花原市（けばらいち）地区の先は、路肩が約50メートルにわたって崩落。現地を視察していた山本正徳市長が「今度は山から津波が来たかのような被害だ。陸の孤島になる前に早期にルートを確保する」と携帯電話で指示を飛ばす。車両を置き、自転車で進んだ。

閉伊川の水量はピーク時から減ったとはいえ、茶色く濁り、激しくうねる。午後6時ごろ、花原市から約14キロ先の茂市に到着した。新里地区の約1150世帯は市中心部や盛岡市への交通を断たれた「孤立状態」。電気は通っているが、断水や固定電話の不通が続く。自給自足にも限界があり、物流の復活が待たれる。

国道106号は東日本大震災で、内陸から沿岸への支援物資搬送に力を発揮した。その「命の道」の被害を目の当たりにして、早期復旧を強く願わずにはいられなかった。（報道部・八重樫和孝）

【写真＝刈屋川に架かる市新里総合事務所付近の日蔭橋は中央部から流失した＝31日午後6時、宮古市茂市】(2016/09/01)

龍泉洞から水噴き出す　岩泉、再開のめど立たず

台風10号による豪雨で、岩泉町にある鍾乳洞「龍泉洞」が被害に遭ったことが2日、分かった。地底湖の水があふれて内部の通路が冠水し、入り口から噴き出している。日本三大鍾乳洞の一つとされ、国指定の天然記念物。再開の見通しは立っていない。

事務所によると、台風による雨が激しくなる前の8月30日午前から地底湖の水位が上がり、洞内の通路が水没。31日早朝、入り口から水が噴き出しているのを確認した。30日から休業しており、けが人はいない。

過去にも大雨で水があふれたことはあるが、今回はこれまでにない量だという。三上薫所長は「内部の被害はまだ確認できていない。再開には時間がかかる」と話す。【写真＝地底湖の水があふれ、入り口から水が噴き出している龍泉洞＝2日午前、岩泉町】(2016/09/02)

第７１回国民体育大会「希望郷いわて国体」

本大会は1日、北上市の北上総合運動公園陸上競技場で総合開会式を行い、1970年以来46年ぶりに本県を舞台とする国民スポーツの祭典が幕を開けた。

総合開会式はオープニングイベントに続き、天皇、皇后両陛下が出席される中で始まった。沖縄を先頭に、南から北へ各都道府県選手団約4800人が堂々と入場行進。最後にボート成年男子の佐藤翔（かける）選手（日大4年）を旗手に本県選手団330人が登場すると、大きな拍手に包まれた。

炬火（きょか）がともされ、本県陸上成年男子の高橋英輝（富士通）とホッケー成年女子の小沢みさき（東北銀行）が高らかに選手宣誓した。

本大会は、全国４７都道府県の選手団約２万２９００人（会期前競技の水泳を含む）が参加。１１日までの１１日間、県内２４市町村で３６正式競技と特別競技の高校野球を行う。総勢９３３人の本県選手団（水泳を含む）は全競技に参加する。

【写真＝地元での活躍を期し、旗を振り笑顔で入場行進する岩手県選手団＝１日午後２時１２分、北上総合運動公園陸上競技場】(2016/10/01)

入場行進、両陛下が声援　岩手国体開会式に出席

来県中の天皇、皇后両陛下は1日、北上市相去町の北上総合運動公園陸上競技場で行われた岩手国体総合開会式に出席し、式典前演技や役員・選手団の入場行進などを観覧された。

両陛下は、東日本大震災からの復興へ前進する岩手の姿を伝える式典前演技を熱心に見つめられた。勇壮な動きの虎舞や息の合ったさんさ踊りなどを披露した約1900人の出演者に何度も拍手を送られた。

式典では冒頭、震災犠牲者を悼み、黙とうをささげられた。各都道府県の選手団が入場すると、両陛下は拍手をしたり、手を振ったりして、にこやかに迎えられていた。

2日は盛岡市本宮の盛岡タカヤアリーナで国体の体操競技を観覧し、帰京される。【写真＝選手団の入場に手を上げ応えられる天皇、皇后両陛下＝1日午後2時14分、北上市相去町・北上総合運動公園陸上競技場】(2016/10/02)

小岩井農場が国重要文化財へ　近代発展の歴史色濃く

文化審議会（馬渕明子会長）は21日、雫石町丸谷地の小岩井農場施設21棟を国の重要文化財（建造物）に指定するよう松野博一文部科学相に答申した。同農場は本格的な洋式の大規模農場経営を目指し、1891（明治24）年に開設。時代ごとの最新技術を取り入れた一連の建造物を良好な状態で保存しており、日本の近代農場の発展過程を示す重要な施設と評価した。指定は本年度内の見通しで、県内の建造物では27件目。

指定されるのは、明治期から昭和初期に建設した本部事務所や牛舎群、四階建（しかいだて）倉庫など21棟。小岩井農牧（東京都、児玉喜一社長）が所有し、多くを現在も使っている。うち9棟は1996年に国登録有形文化財になっている。

同日、小岩井農場資料館の野沢裕美館長が報道関係者に各建造物を説明した。

本部事務所は1903（明治36）年に建設し、宮沢賢治が「春と修羅」におさめた長編詩「小岩井農場」に「本部の気取った建物」と書いた建物。増築を繰り返し、現在も事務所として使用している。【写真（左）＝現在は分娩（ぶんべん）用牛舎として使っている第二号牛舎】【写真（右）＝小山を掘って作った天然の冷蔵庫の内部。電気を使わず、自然の力だけで約10度に保っている】(2016/10/22)

ススキ、黄金の夕景　県内、深まる秋

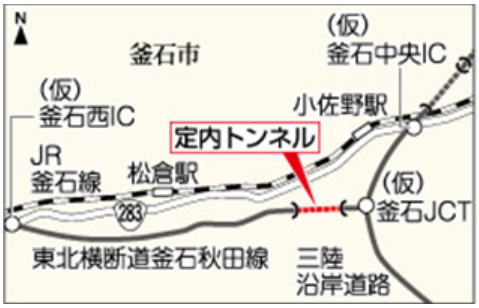
19日の県内は高気圧に覆われて秋晴れとなり、最高気温は36観測地点中23地点で20度以上の過ごしやすい一日となった。滝沢市大釜ではススキが夕日に輝き、秋の深まりを伝えた。

各地の最高気温は盛岡21・0度（平年比4・0度高）、大船渡19・7度（同1・6度高）、宮古17・6度（同0・5度低）など、9月中旬から10月下旬並みとなった。盛岡地方気象台よると、20日の県内は高気圧に覆われて晴れるが、前線や寒気の影響で曇る所もある見込み。【写真＝夕日を浴びて黄金色に輝くススキ＝19日、滝沢市大釜】(2016/10/20)

沿岸内陸、2大動脈が連結
釜石、定内トンネル貫通

東北横断道釜石秋田線（花巻―釜石間80キロ）と三陸沿岸道路（仙台市―八戸市、359キロ）との結節点として釜石市定内（さだない）町から甲子（かっし）町で工事を進めてきた東北横断道の定内トンネル（仮称）が27日、貫通した。沿岸を南北に貫く縦軸と、内陸と東西を結ぶ横軸の二つの大動脈がつながった。2018年度に開通を目指しており、物流や観光、医療などで利便性が高まり、復興が加速すると期待される。

定内トンネルは東北横断道釜石秋田線・釜石道路（6キロ）の一部で長さ808メートル、幅12メートル。開通後は片側1車線になる。三陸沿岸道と東北横断道の結節点となる釜石ジャンクション（仮称）西側に位置し、トンネル貫通で事実上、両道路がつながった。



国土交通省南三陸国道事務所が発注し、大林組が14年9月に着工。15年7月に遠野市側から掘削を進め、今年9月15日に貫通工を終えた。今後関連工事を進めて18年度の開通を目指す。工事契約額は約43億円。【写真＝定内トンネルの貫通を祝って虎舞を披露する園児たち】(2016/10/28)

古式ゆかしく花嫁道中　一関・厳美で「むかさり行列」

一関市厳美町伝統の嫁入り行事「むかさり行列」（厳美地域活性化推進協議会など主催）は30日、同町で行われた。新郎新婦の両家や地域住民ら約100人が秋めいた街を古式ゆかしく練り歩いた。

参加したのは同市厳美町の夫妻。長持唄が響く中、馬に乗った色打ち掛け姿の花嫁や新郎、仲人らが市博物館を出発した。多くの市民や観光客が沿道を囲み、厳美市民センターまでの約700メートルの花嫁道中を見守った。

同行列は大正から始まり、1955年ごろに廃れた。伝統継承や住民交流を図ろうと2003年から復活し、今回で12回目。「むかさり」は嫁入りを意味する東北地方の言葉で、新郎は新婦を「迎」え、新婦は家から「去る」ことが由来とされている。

【写真＝長持唄が響く中、古式ゆかしく練り歩くむかさり行列】（2016/10/30）

【山田】復興事業の完了祝う　大沢地区で祭り

山田町大沢地区の宅地造成や区画整理など復興関連事業の整備完了を祝う復興記念「きずなまつり」（町、UR都市機構など主催）は30日、同地区の大沢第1団地で開かれた。建設中の災害公営住宅や、宅地が広がる高台で記念式典やステージイベントが展開され、訪れた住民は工事の完了を喜んだ。

佐藤信逸町長が「新たな大沢地区を作り上げ、一緒に住みよいまちにしていこう」とあいさつ。桜（エドヒガン）を記念植樹した。大沢保育園の園児が工事関係者に感謝状を手渡した。山田吹奏楽団の演奏や、大沢大神楽などの伝統芸能も披露された。

家族と訪れた同地区の会社員大川哲平さん（35）は「震災から5年7カ月、ようやく自宅の建築が着工できる。家族と一緒に安心して暮らせる」と再建を心待ちにした。

【写真＝大沢地区の宅地造成などの完了を祝い、ステージで演奏する山田吹奏楽団】

アワビ口開け、浜に活気　宮古・重茂

宮古市の重茂地区で5日、今季のアワビ漁が口開けされた。待ちわびた漁業者らが夜明け前から沖に繰り出し、浜は活気づいた。

重茂漁協管内の各地区から約300隻のサッパ船が出航。＝ケ埼（とどがさき）灯台付近から山田湾方面に約2キロの漁場で、午前6時半の監視船の汽笛とともに漁を開始した。箱眼鏡を使いながら先端にかぎのついたさおを操って水深約2～10メートルにいるアワビを次々と捕った。同日は約2・3トンを水揚げし、1キロ当たり平均8千円ほどで取引された。今年はアワビの餌となるコンブなどの生育が悪く、小ぶりのものが多いという。※＝は「魚（さかなへん）」に「毛」【写真＝早朝から海に繰り出し、アワビ漁に励む漁業者ら＝5日、宮古市・重茂地区】（2016/11/06）

外国人接客へ「おもてなし」探る　二戸市・金田一温泉

二戸市の金田一温泉活性化プラン実行委青年部（大建宗徳部長）は、近年増加する外国人観光客の接客向上に取り組んでいる。モニターツアー客を招くなど、英語での接客や館内表示、地元食材のPR方法などを宿泊客とともに見直し、地域を挙げた「おもてなし」の在り方を探っている。　5日はモニターツアー客12人の宿泊に合わせ、同市金田一のおぼない旅館で周辺旅館や農家も交えた勉強会を行った。一行は東京都のコンサルティング会社が企画したラーメンの食べ歩き旅行で来県した米国、カナダ、韓国などの旅行者と日本在住者。主要観光地に飽き足りない「日本通」もおり、座敷に並ぶ膳やいろりを囲むアユなど伝統的な光景に歓声が上がった。

従業員もスマートフォンを片手に英訳サイトを活用するなど、英語での接客に奮闘。夕食時は金田一営農組合（五日市亮一組合長）が同旅館で使用する県独自品種米「きらほ」を説明するなど、生産者の顔が見えるPRが好評だった。【写真＝外国人観光客の接客を通じ、課題を探る金田一温泉活性化プラン実行委青年部員ら】（2016/11/07）

204人の手掛かり求め　陸前高田で震災不明者捜索

東日本大震災から5年8カ月の11日、県警と海上保安庁が陸前高田市の古川沼で震災行方不明者の合同潜水捜索を行った。今も204人が行方不明の同市では不明者の家族らが3月に2万8千人の署名を市に提出、市議会は再捜索を求める請願を採択し、約3年ぶりに再捜索が実現した。同日は、8月に東海大のグループが音波（ソナー）で調査したデータを基に捜索したが、手がかりは見つからなかった。

雨が降る中、潜水士10人を含む約40人が水温4・8度の湖底計25カ所を捜索し、撮影した映像を家族が確認した。木材や鉄筋コンクリート、岩盤などのがれきに泥が堆積した様子が映し出され、家族からは「堆積した泥の下も捜索してほしい」などの要望が出た。

12日は市職員やボランティアが古川沼周辺で遺留品などの捜索を行う。県警は26日午前10時から正午まで、大船渡市盛町のリアスホールで震災身元不明者らに関する情報交換会を開く。

【写真＝冷たい雨の中、震災不明者を捜索する警察官ら＝11日、陸前高田市高田町】（2016/11/12）

Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil
ブラジル岩手県人会
Rua Thomaz Gonzaga 95-M Liberdade São Paulo Brasil CEP 01506-020
TEL/FAX (11) 3207-2383 www.iwate.org.br e-mail iwate@iwate.org.br
岩手県人会ニュース194号、ふるさとだより ⑧ 併合 2016年11月発行

岩手県人会の催し

Próximos Eventos do Iwate-Kenjinkai

１２月１０日（土）**餅つきを行います。**お手伝いをお願い致します。　　美味しい白餅をお正月用にどうぞ !!
限定販売致します。価格は 1 袋 500g 入り　R$ 17,00
予約は、岩手県人会又は電話（11-3207-2383）で受付けております。ご注文された餅の受取は、午後2時から6時まで

10/12/2016 (Sabado)
Moti tsuki
Precisamos voluntários
Motigome 100% pode ser congelado até Ano Novo

★ Estamos aceitando encomenda antecipada
★ Produção Limitada. garanta já o seu pedido
★　Pacote 500g　R$ 17,00
Entrega no dia após 14:00 até às 18:00 hs

忘年会・定期総会 - 新年会

12月11日（日）2016 年度**「忘年会」「第61回交流誕生会」**が、正午から行われます。　食事は持寄りをお願いたします。
飲物、ケーキ、その他は県人会で用意します。
岩手国体のビデオ上映やビンゴがあります。

Data 11/12/2016 domingo　a partir das 12hs

Bônen kai e Aniversariante
Sistema Motiyori (Bebidas,Bolo, por conta do Kenjinkai)
Bingo e Apresentação de Video Iwate-kokutai

2017年度　定期総会・新年会

来年度定期総会及び新年会は、都合により 2 月 12 日（日）に決まりました事をお知らせ致します。詳細は追って詳細はご案内致します。

12/02/2017　Assembléia Geral Ordinaria e Shinnen - kai